

事業番号	10 04 36	事業改善シート (25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	県営林経営費 特殊林分収林造林事業費			担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	森林づくり推進課		
	施策の総合的展開	1-4森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 3多様な森林の整備の促進		E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	S47 ~		

1 事業の概要

目指す姿	持続的かつ自立した林業経営を図るため、伐期の多様化や適地適木による多様な森林の造成を行うとともに、新たな課題や要請に対応することにより、「地方林業の経営に模範を示し、もって林業の振興発展に寄与する」という県営林の目的の高度発揮を目指す。 成果目標 県内素材生産量 H23:329千m ³ → H29:610千m ³
------	--

現状	県営林の森林資源は、伐期に至らない林分がほとんどで、間伐等の保育作業が必要である。他方、森林資源は確実に成熟しつつあることから、間伐材の販売を通じて収入の確保を図りつつ、将来の伐期に備えた施策を行っている段階である。 また、皆伐を見据えた更新のあり方や、オフセット・クレジット制度への対応など、時代の要請に応じた課題に積極的に対応している。
----	---

県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務) 【左記の説明、根拠法令等】 時代背景や経済動向などに左右されずに継続して模範的な林業経営を行うことが必要 (県有林管理規則、県有林の管理等に関する規程、県営林の管理等に課する要綱) 県民との協働による実施：困難
----------	--

事業内容	① 成果目標 (H25)					
	第9次県営林管理経営計画 (H24~28) に基づく間伐面積2,000ha及び生産物処分材積71,265m ³ を達成するため、400ha(H25)の間伐実施、13,121m ³ (H25)の材積を目標とする。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初)	H25 (決算)	H26 (当初)
	特殊林分収林造林事業	委託直接	適正な管理及び経営を行うための間伐等の施策を実施する	21,111	5,789	16,190
その他事業の実施に必要な経費	直接	事業箇所の調査補助、消耗品等	320	27	192	
			合計	21,431	5,816	16,382

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				5,789
	当初予算	2,000	5,377	21,431	16,382
	補正予算	-1,817	-5,223	-15,322	
	合計(A)	183	154	6,109	22,171
	国庫支出金			2,296	7,088
	県債				
	その他	183	154	320	6,794
	一般財源	0	0	3,493	8,289
	決算額(B)	0	0	5,816	
概算職員数(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	
概算人件費	413	413	413	413	
概算事業費(B(A)+C)	413	413	6,229	22,584	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
県営林間伐面積(ha)	322	400	254	未達成	400
県営林生産物処分材積(m ³)	15,326	13,121	13,663	達成	14,580

目標に対する成果の状況	木材価格の下落に伴い、条件の厳しい現場では間伐材の売払い収入による財産確保の見通しが立てられず、財源が不足するため事業の見送りをせざるを得ない団地(74ha)があったこと及び、下方道路の通行不能等による翌年度への繰越(110ha)があったため、面積目標は達成できなかった。 一方、搬出できる現場では集中的に間伐を中心に伐採と木材の販売を行ったため、生産物処分材積については、目標を達成できた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 引き続き適正な森林管理に努めるとともに、成熟しつつある森林資源を利用し、積極的な生産物処分事業の実施を中心に収入の確保を図り、模範林としての機能をより高度に発揮する。
-----------------	--